

# 第1回ガーデンふ頭再開発基本計画検討委員会

日 時：平成28年12月18日（日） 9：30～11：20

場 所：名古屋港湾会館第5会議室

出席者：犬塚大志委員、内田俊宏委員、佐藤久美委員  
秀島栄三委員、平野裕加里委員、宮脇勝委員

## 議事概要

### 1. 委員長選出

互選により秀島委員が委員長に選出された。

### 2. 議事要旨

基本計画策定の背景、ガーデンふ頭を取り巻く状況、ガーデンふ頭の将来像及び基本方針等について議論を行い、以下の様な意見があった。

#### ○名古屋港水族館の更なる強化について

- ・もっと独自性を前面に出し、広く情報発信するなど、集客力アップを図るべきである。
- ・動線の分かりやすさ、外国人対応など、来訪者に対するホスピタリティの向上が必要である。

#### ○滞在時間を伸ばす施策について

- ・名古屋港水族館以外にも目的型コンテンツの集積が必要である。
- ・今後はシニア層・女性などターゲットを広げていく必要がある。
- ・可処分所得の減少に伴い、レジャーや物販に使われる費用が減ってきていることをSWOT分析\*に加えるべきである。

(次頁へ続く)

○ガーデンふ頭全体の統一感について

- ・ガーデンふ頭の施設毎の連携が不足していることを SWOT 分析\*に加えるべきである。
- ・再開発するこの機会を捉えて、計画力の優れた専門家に依頼し、ふ頭全体のマスタープランを作成して、各施設をコーディネートさせてはどうか。
- ・にぎわいを創出するためには、民間が投資しやすい環境を整えるべきである。

○その他

- ・金城ふ頭など、周辺のにぎわい拠点との連携が重要である。
- ・ガーデンふ頭のような臨海部は防災に対する配慮が重要である。
- ・ふ頭名、施設名、駅名を共通の呼称に統一すると知名度が向上するのではないか。

第2回検討委員会は、平成29年2月28日（火）に開催し、基本方針や機能配置の考え方等について議論することが確認された。

※SWOT 分析：現況分析として、強み(Strengths)、弱み(Weaknesses)、機会(Opportunities)、脅威(Threats)を体系的に評価するための分析手法